

広報たかもり

発行 阿蘇郡高森町役場 TEL (高森局09676) ②1111 [代表]

人口

—12月31日現在—

9,634人 男...4,681人
女...4,953人
世帯数.....2,634
転入 69 出生 12
転出 23 死亡 8



第234号

昭和54年

2月

「静物」

私が高森中1年のとき、枝尾先生の指導を受けて描いた水彩画です。その後も絵が好きで、暇をみてはスケッチに出かけています。
天神 興 裕 隆

おもな内容

- ◇昭和52年度の決算報告.....(2~3)
- ◇申告は3月15日までに.....(4)
- ◇新春恒例の出初め式.....(5)
- ◇目標額の107%を達成(共同募金).....(6)
- ◇高森の歴史・郷土の博物誌.....(7)
- ◇みんなの広場.....(9)

2月25日	2月18日	2月12日	2月11日	2月4日
南阿渡	高森	小高森	寺高森	東高森
阿渡	森	林	崎	馬
7	2	2	2	2
7	0	0	0	0
7	7	3	3	6
院	医	医	医	院

診療は午前9時から午後5時まで

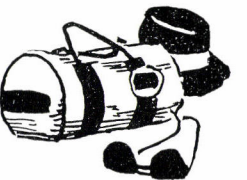
町民文芸

俳句

雲海が消えて輝く初日の出
片言の孫と二人の初湯かな
一と杓の若水母と分ちけり
孫発ちて障子に残る指の穴
友と汲み交す煮豆の柳箸
寒の月満つる明りの冴ゆるかな
裏木戸を仔牛がのぞく松の内
書初の一を記す句帖かな
初景色重なる山の視界かな
芋加へ七草粥とは名のみななる
一病を守りて無事に年を越し
松過ぎてからも小春のような日々
七草やありあわせにて祝ひけり
古い歌手拍子も出る初句座
暖冬や正月歩きも何となく
初便り昔を偲ぶよすがにも
初仕事袋のきれはぎとり集め
氏神の焚火の櫓の太さかな
七草の芹摘む背ナに時雨来し
老二人鏡開きもして達者

肥後狂句

寒さ寒さ 家計いじむる不況風
手打ソバ、元録の字の残る店
忙しさ、今日も寝顔で見る我が子



福間 宮女
田上 千尋
野尻さだむ
恵良あや女
藤井秋雪女
甲斐 菊江
馬原その女
熊谷こう女
草村あつ代
野尻 信之
草村 鶴代
原田 健正
熊谷 紫雲
長友たつ子
瀬井てる女
野尻 誓道
熊谷起代女
瀬井せん女
熊谷 つ子
馬原 岳人
浦塚 南天
岡本 琴司
林田 一声

おめでたおくやみ

出 生		53年12月16日～54年1月15日受付		
(住所)	(保護者)	(出生児)	(性別)	(生年月日)
洗 川	堀山 一声	勝	男	S53.12.8
下 町	倉崎 利典	好太郎	男	12.18
洗 川	後藤 初巳	秀 樹	男	12.22
下 町	武下 孝行	秀 孝	男	12.20
矢津田	二子石富士夫	薫	女	12.14
〃	〃	誠	男	〃
永野原	武田 博	小百合	女	12.15
草 部	姫井 豊光	美穂子	女	12.7
下 切	工藤 善蔵	善 高	男	12.17
中	二子石公司	健 司	男	12.23
尾 下	藤本 厚夫	伸 一	男	12.16
津 留	岩佐 幸男	幸 博	男	12.20
〃	瀬井 正三	みずよ	女	12.30

死 亡				(年 齢)	(死 亡)
(住所)	(遺 族)	(続柄)	(死亡者)	(年 齢)	(死 亡)
西 丁	田上 親視	妻	田上トシエ	63	53.12.24
横 町	甲斐 俊男	父	甲斐 宮八	71	12.28
下 町	佐藤 正雄	母	佐藤ヤスエ	71	54.1.7
中	二子石公司	長男	二子石健司	0	53.12.27
永野原	阿南ツヤコ	夫	阿南 近	71	12.16
尾 下	首藤 勝久	妻	首藤マサエ	70	12.16
津 留	綾部 民生	父	綾部 直	80	12.19
〃	今井ヤツエ	夫	今井養子磨	71	12.20

結婚	(住所)	(届出年月日)
野尻	善秀 人子	54.1.6
(甲斐)	堀山 一声	
(石田)	千恵子	
津留中江	矢津田高尾野	
上色見洗川	佐賀県肥前町	53.12.19

(ご) (寄) (付)

ありがとうございました

町社会福祉協議会

- ▽高森村山の堤勝男さんから (父、與さん・79歳死去)
- ▽津留の綾部民夫さんから (父、直さん・80歳死去)
- ▽高森横町の甲斐俊男さんから (父、宮八さん・71歳死去)
- ▽高森下町の佐藤正雄さんから (母、ヤスエさん・71歳死去)

その他の寄付

▽上色見洗川の後藤シズさんから

育ちが育ち 見えん下着に金かくる
ハラハラ、教えた如つア言わん孫
四方八方、見渡す山は綿帽子
ハラハラ、付け膏薬の剥げかかり
寒さ寒さ、まアだ質屋にあるミンク

馬原 馬笑
林 不忘
二子石探訪
田上黙公子
林田 瑤子

- ▽根子岳老人クラブへ金一封
- ▽上色見中原の橋本野幸男さんから根子岳老人クラブへ金一封
- ▽津留の綾部民生さんから老人クラブ「ふもと会」へ金一封
- ▽高森下町の山村法雄さんから老人クラブ「楽友会」へ金一封
- ▽高森町の塚本保雄さんから老人クラブ「楽友会」へ金一封
- ▽高森町の「和楽会」へ金一封
- ▽色見西丁の田上親視さんから老人クラブ「和楽会」へ金一封
- ▽熊野会「友楽会」へ金一封
- ▽根子岳会「金一封」

先月号の新春座談会の中で、岡田さんの名前が一部「谷川」となっていました。ここに訂正しておわびいたします。

訂正おわび

私の師範時代からの親友、佐藤芳男君は、現在菊陽町のアルコー会の会長ですが、彼の処世の信条をみなさんに紹介しましょう。

【生活の指標】

老いは白雲空行くごとく、せかずさがずとどまらず▽心にゆとりを『悠々自適』

▽暮らしに夢を『心豊かな暮らし』

うるおいのある生活、のんびりした暮らし▽働きに喜びを『楽しんで』

食前『高麗人蔘茶の服用、生水飲用(約五合)』▽午前中『新聞の精読、神仏に献花、水かえ、屋敷内』

※これらを参考に私たちも気分をほがらかに『張り』のある生活を送りたいものです。

老後の生き方について

津留 馬原 範三 (75)

年末の贈答カレンダーに思う

横町 匿 名 (65)

みんなの広場



「つけ物工場」
尾下小6年 児玉由美

昨年の暮れには新聞社はじめ銀行、会社、商店などから多種多様なカレンダーをいただきました。志はまことにありがたいのです

が、実際に使用しているのは、その中から気に入った一〜二枚に過ぎません。残りは捨ててもできず、ぐるぐる巻いて棚の隅へ置いていたのですが、毎年、私の家ではこれの繰り返しです。このことは多くの家庭がそうではないかと思えます。このような状態を全国的に考えてみると、莫大なムダが生じていることになるわけです。

そこで年末には、こういったカレンダーを贈る替りに、もっと日常生活にすぐ役立つものを選択されたらいかがでしょうか。

また「本当のことを言うて、この作文を書きなさい」といわれたとき、「またか、めんどくさい」と思った。これは私の部落差別に対する考えが浅いからだろう。また差別されてる人の身になって考えていないからだと思ふ。だからって真剣に考えてみれば「こんなことはいけない、早く直さなくては」と思うだろう。だけど私たちに何ができるのだろうか、この差別をさげている人たちのために、たまたうやって作文を書いたり、かわいそうだという同情だけだろう

部落差別に対する私の考え

高森中学生の作文から

この前の道徳の時間、「きずな」という本で勉強した。実際に部落出身の人が書いた作文集で、部落差別にひどくくしみをもらっている人が書いています。この中に「人間が始めたのなら、終わりのあるはずだ」と書いてあった。本当にそれとお

解放の力

部落差別のことにについて勉強した後、いつも必ず思うことは「何でこんなことをするのだろう、何も悪いことではないのに、同じ人間なのに」ということだ。でも私がこんなことをいっても、それは勉強した後の少しの間だけで、その後しもうそんなことなど忘れてしまうように遊んでいる。

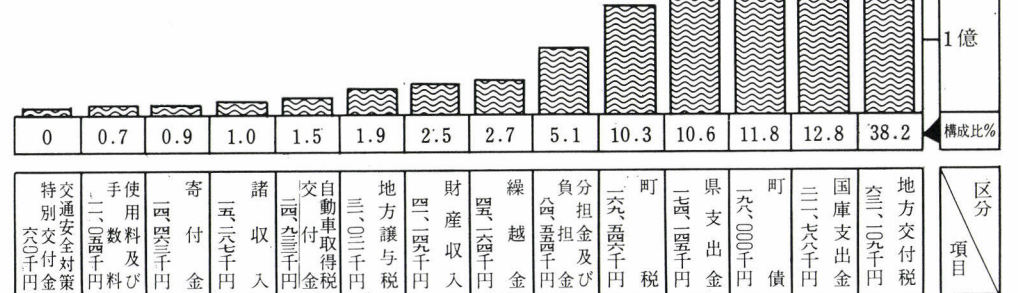
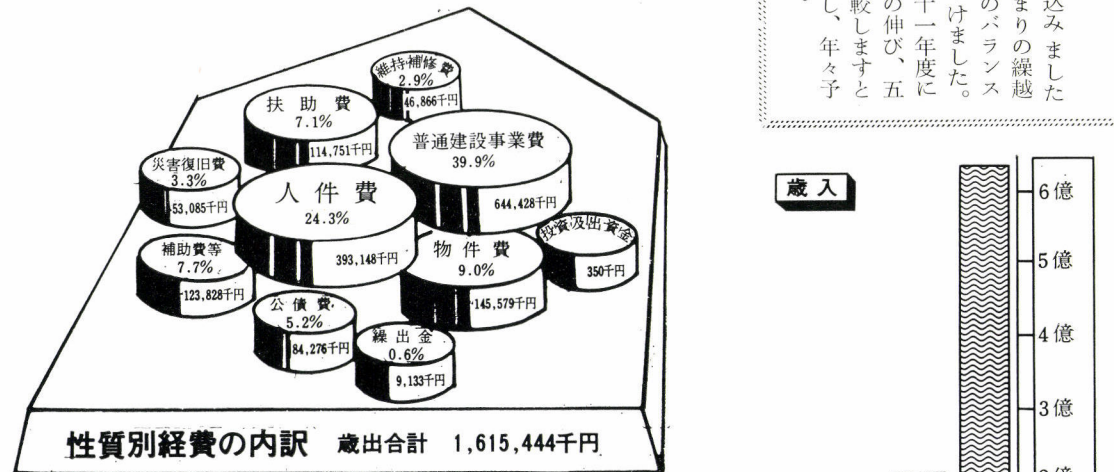
か。

昭和52年度

町財政の決算報告

一般会計	歳入	歳出
決算額	1,652,897,638円	1,615,444,279円
翌年度への繰越額		37,453,359円
合計	1,652,897,638円	1,652,897,638円

歳入	特別会計	歳出
364,846千円 133,798千円 18,631千円 1,263千円 2,411千円	国民健康保険 簡易水道 住宅新築資金等貸付金 母子福祉資金貸付金 奨学資金貸付金	331,730千円 60,466千円 18,590千円 1,026千円 2,221千円



五十二年度の一般会計は五つの特別会計が、さきの十二月定例町議会で認定されました。みなさんが納めた税金や国からいただいた地方交付税などがどのくらい入り、またどのように使われたかという町の台所のゆくえを、図表にまとめましたのでお知らせします。

町財政の運営にあたっては、町発展の基本方針をみつめ、財政の健全性を確保するとともに、生活環境の改善、生活基盤

きた予算をつぎ込みました。が、三千七百万円あまりの繰越となり、一応収支のバランスを保ち、決算にこぎつけました。歳入決算総額は五十一年度に比較しますと一割の伸び、五年前の四十七年に比較しますと二・六倍の伸びを示し、年々予算も増大しています。

歳入では前年比11%の伸び

お知らせ

年金保養センター 利用補助券を交付

全国二十カ所に設置されている国民年金保養センターの利用者に対して、施設利用券が交付されるようになりましたのでご利用ください。

- 利用券は利用者一人につき五百円の補助が行われます。
- 利用券の交付範囲は国民年金被保険者か年金受給者であること
- 利用券の有効期限は三月三十一日までとされています。
- 申し込みは国民年金係へ

2月22日に行 政相談を開

役所の仕事や国鉄、公団、公庫、事業団などに意見、苦情のある方のために、次の日時に行政相談が開設されます。

主な相談内容は▽恩給、年金、健康保険、登記、農地、交通、郵便、環境衛生、公害、公営住宅、国鉄、電報、電話、たばこ、公団公庫、事業団などの仕事。秘密は厳守され、費用は無料です。

当日は本町の行政相談委員ほか

高森幼稚園で 入園児を募集

熊本行政監察局からも係員が見えて相談に応じます。

▽日時 二月二十二日(木) 午前
十時から午後三時まで

▽場所 町民センター

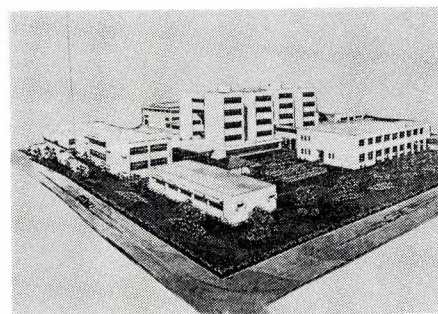
なお、当日以外の相談は行政相談委員の桐原史吉さん(上町)へ。

高森幼稚園では、五十四年度の入園児を二月二十二日から募集しています。募集人数は三歳児二十人、四歳児二十五人、五歳児三十人の計八十人です。入園ご希望の方は直接、高森幼稚園(高森昭和)にお申し込みください。定員になり次第締め切りとなります。

財形住宅融資の 申込みはお早

住宅金融公庫では、財形貯蓄をしている勤労者(三年以上行い、その残高が五十万円以上ある方)を対象に財形住宅融資の申込受付を二月二十八日まで行っています。この融資は公庫の一般個人住

定時制 県立江津高校が開校



3月24日まで募集

熊本市の江津湖に近い閑静な地域に本年四月一日から定時制・通信制だけの県立江津高等学校が開校されます。これに伴って済々、熊高、熊商の定時制と第一高校の通信制課程は募集停止になります。

江津高校は文部省のモデル校の指定を受け五階建ての校舎、特別教室、大小二つの体育館など西日本一の施設設備を整えています。従来とく定時制、通信制という、全日制に付設しているという感がぬぐえませんが、今後は勤労と学習との両立をめざす人々が自信と期待をもって登校することができるわけです。

募集学科は定時制が普通、商業、衛生看護の三学科。通信制は普通科のみです。募集期間は定時制が二月七日から十四日、通信制が二月二十日から三月二十四日まで。詳しくは熊本市出水四丁目三五〇 熊本県立江津高校(☎0495)へお問い合わせください。

離職者対象に 訓練生を募集

五年以内 ▽簡易耐火三十年以内
▽中古住宅 耐火構造二十年以内
▽住宅改良 十年以内
詳しくは住宅金融公庫(☎09六三〇二二二)へ

荒尾総合高等職業訓練校では職業転換を必要とする人に技能を与えて、再就職を容易にするために次の要領で訓練生を募集しています。訓練期間は一カ年。

【訓練科目】機械科、製缶科、溶接科、電気工学科、自動車整備科

【入校資格】職業転換を必要とする離職者で、公共職業安定所長

教育モニター募集

教育について深く関心をお持ちの方はふるってご応募ください。主な仕事は文部省からお送りする文書にご意見などを記入し、回答していただきます。依頼期間は二年間。熊本県は十名程度。受付期間は二月一日から三月十日。申し込み方法など詳しくは、県教育庁総務課(☎096381111内線2662)へ。

町有財産の状況

区分	面積
土地	1,094.08ha
原野	573.39ha
山林	518.94ha
警察治安林	1.75ha
庁舎	3,459m ²
行政機関	1,144m ²
学校	754,192m ²
公営住宅	39,356m ²
公園	18,670m ²
その他	26,164m ²
建物	29,817m ²
庁舎	1,629m ²
学校	18,959m ²
公営住宅	6,797m ²
その他	2,432m ²

区分	現在高
有価証券	2,722,000円
株券	135,000円
地方社債券	1,992,000円
社債券	595,000円
出資の権利	3,090,000円
県信用保証協	2,000,000円
農業信用	1,090,000円
財政調整基金	7,868,000円

公営住宅 (212戸)

1戸当り	家賃収入 (年間)	37,599円
	管理経費 (年間)	49,642円

小、中学校の管理に要する経費

年間平均	1校当り	15,503,600円
	生徒1人当り	146,814円

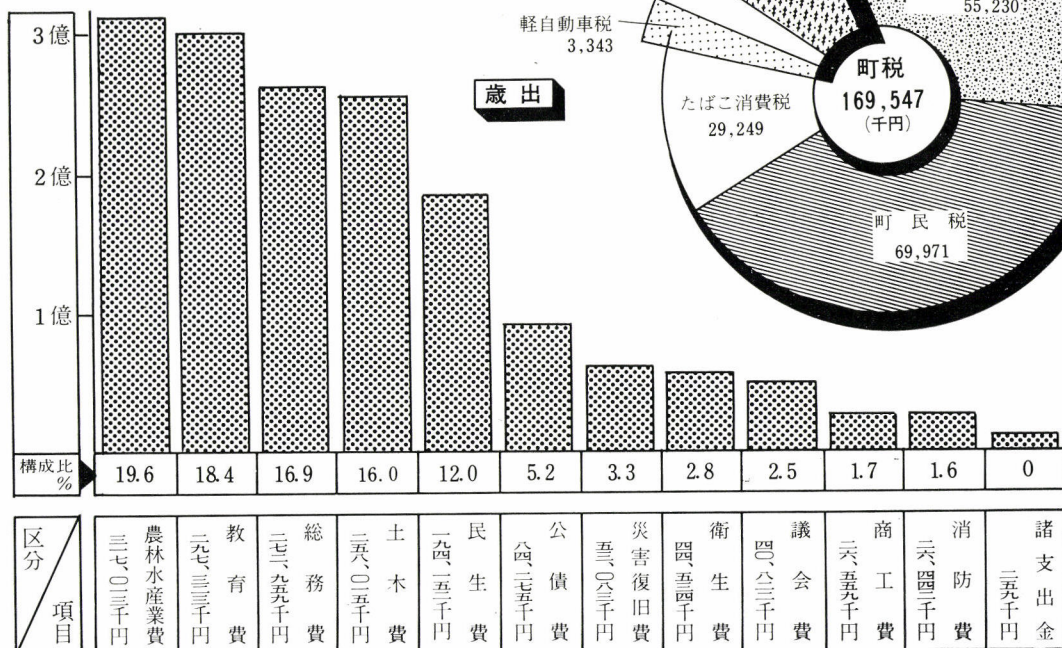
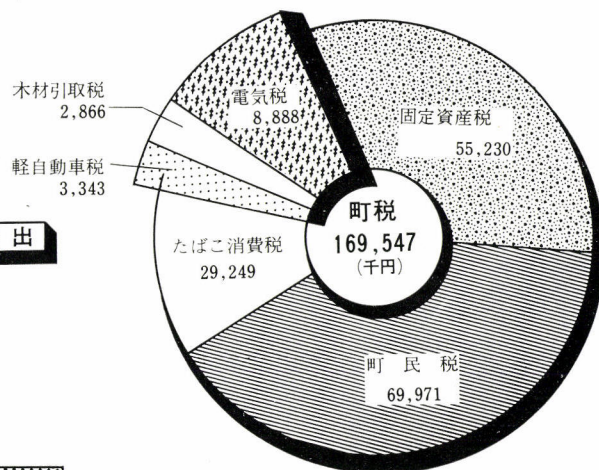
年間平均	1校当り	11,418,500円
	生徒1人当り	114,615円

一人当たりの納税額

町民税	7,272円
固定資産税	5,744円
軽自動車税	348円
たばこ消費税	3,042円
電気税	924円
木材引取税	298円

たばこ消費税	成人男子1人当り 年間 9,679円
--------	-----------------------

たばこ消費量	年間総消費量23,777,913本 成人男子1人当り 7,868本
--------	--------------------------------------



申告は3月15日まで

所得 税
町 県 民 税

納税相談を開きます

19日から町内8カ所

所得税、町県民税の申告受け付けのため、今年も臨時の窓口を二月十九日から町内八カ所で開催します。時間は午前九時から午後三時まで。日程と会場は別表のとおりです。申告書の書き方などわからないことも会場でお気軽におたずねください。

所得税の確定申告

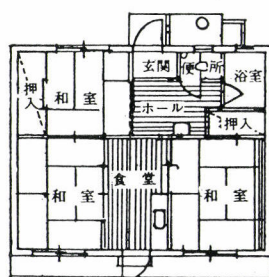
所得税は個人が一年間に得た所得に応じてかかる税金です。所得の確定申告をしなければならぬ人は、①事業をしている人や不動産収入のある人、土地を売った人などで、五十三年中の所得の合計額が配偶者控除や扶養控除などの所得控除の合計額より多い人②サラリーマンで、給与の年収が一千万円を超える人

納 税 相 談 日 程 表

(時間 9.00～15.00時)

月日	対 象 地 区	会 場
2 19	(午前) 山 上 在 産セ ンター	
20	旭 通 天 神 〃	
21	昭 和 上 町 野 〃	
22	下 町 津 留 〃	
23	横 町 森、草 部 基 幹 集 落 セ ンター	
26	社 倉 口 〃	
27	芹 野 原 〃	
28	洗 川 (大 村 農 協 上 色 見 支 所	
3 1	前 原 中 倉 原 上 農 協 色 見 支 所	
2	戸 狩 小 倉 上 鳥 農 協 色 見 支 所	
7	矢 津 田 中 草 北 小	
8	津 留 1 津 留 2 野 尻 出 張 所	
9	野 尻 下 〃	
12	河 原 1 河 原 2 河 原 公 民 館	
13		
14	上記に洩れた人	畜 産 セ ンター
15		

- ▷ 確定申告説明会 2月20日10～12時
- ▷ 贈与税納税相談 2月22日10～16時
- ▷ 所得税 〃 3月5日10～16時



第二種住宅の間取り

上在の須坂地区に建設している町営住宅の五十三年度工事は三月いっぱいまで完成の見込みとなり、二月十五日から入居希望者の公募を始めます。

今回募集する住宅は第一種四戸、第二種四戸の計八戸で、いずれも簡易耐火平屋建て。

入居資格は①高森町内に住所、または勤務地をもち、公租公課を

町営住宅やがて完成

入居受付は2月15日から

がありましてからお気軽に係員におたずねください。確定申告は臨時の窓口のほか、税務署や役場税務課でも無料で相談に応じています

【町県民税】とし一月一日現在町内に住所がある人で、五十三年中に所得がある人。ただし次の

- ① 所得税の確定申告をした人
- ② 五十三年中の所得が給与所得だけの人(雑損控除、医療費控除を受けようとする人は、そのための申告が必要です。)

高森の歴史散歩

<16>

教育長 今村としお

耶馬台国論と高森色見

が華奴蘇奴国、上蘇奴の意味で現



根子岳の東峯から見た天狗岩

祭を行」とあります。この年代は随の大業三年で、わが国では推古天皇の十五年(六〇七)と考えられます。また「根子岳は山頂部に大岩脈が東西に走り、天狗岩、蠟燭(ろうそく)岩がある。中心から南北両面に二つずつの放射状溪谷があって、その岩脈に沿って浸蝕作用が発達している。寛政八年の大洪水に大崩壊が起り、根子岳の山容を一変したが、これら溪谷の生成の意味するものかも知れない」と熊本県史に記されています。

中堂氏は随書による爆発論は中岳でなく、根子岳と推論し、これより以前の根子岳山麓は平穏な肥沃な平原で、ここに耶馬台国の傍国の蘇奴国が独立していたとしています。この蘇奴国が現在の下色見のことで、阿蘇の野の国の意。その隣りが華奴蘇奴国、上蘇奴の意味で現

在の上色見、旧高森町は外輪山下で、峠を越えるところにあるので呼邑(こゆ)の国であると説明しています。

どうして蘇奴、すなわち蘇野が色見となったかといえば、推古天皇の十五年、根子岳の大爆発で吹き上げられた大小の石が中天から落下し、推積して沃野がたちまち荒野に化した。里の人々はこの石を恐れ、神として祀りあがめた。すなわち「肥後国神祇正鑑」によ

郷土の博物誌

(終)

ようだ。

根子岳もほかの五岳と全く同じように、もとは一つの火口を持



根 子 岳

山は黙っている。黙って考えている。ときどき耳許をかすめるうるさい雲の囁きなど気にすることなく、山は聖者が哲人のように、今日も黙って静かに考えている。

これは三十数年前亡くなった私の妹倍子が根子岳を歌った詩の一節であるが、根子岳の姿や心を短かい言葉で表現しているようだ。

それにしても、私たち高森町のシンボルであり、観光の看板でもあるこの山だけが、阿蘇の山々の中でどうしてひとりこんな特異な姿をしているのか、それを知っている人は割に少ない

では、けたはずれに古い山であるうえ、その後地下の粘質のマグマが地核の軟かいところをぬ

うなずくことができます。

呼邑、蘇奴、華奴蘇奴の三小国家が後世の高森手永、高森、色見で傍国として同一歩調をとったと思われま

前号に述べましたが、色見は阿蘇庄の管外でしたが、これは政策上のことで、中堂氏の所論は地形、地名から白川の上流、南郷の中心を以上のように説明し、興味深いものがあります。

って隆起し、そのまま冷えて岩脈になったという。そのため、ほかの火山が出来る前から風化侵蝕が進み、その岩脈が残って今のような形を作ったのだそうである。だからあの鋸切(のこぎり)形の岩峯が侵蝕を受けなかった岩脈の残骸というわけである。

日本の数多い火山の中でも、火山体内の地下マグマの岩脈が根子岳のように地上に露出して

いるのは、ほかに類がないともいわれている。

さて、この「郷土の博物誌」も自然の恵みの多い本町ではないから書いても限りはありませんので、本回をもって一応終わらせていただきます。ご愛読いただいたり、ご激励を給わった皆さんに衷心よりお礼を申し上げます。

町文化財保護委員 佐藤武之 合掌

日頃の 訓練を披露

新春恒例の出初め式



岩下町長から点検を受ける第一分団

新春恒例の高森町消防団の出初め式は、一月十日午前九時から高森中学校に、山村団長以下十一分団二十二部の四百三十一人と消防車三台、ポンプ積載車六台、小型ポンプ十

二台が出動して岩下町長から点検を受けました。
この日も例年にたがわず雨が降る悪天候でしたが、各分団とも日ごろの訓練で身につけた規律、号令ぶりを披露しました。

通常点検のあと、岩下町長、山村団長らが「平素の任務遂行に感謝します。今後も消防の重要性を認識して、一層の努力をお願いしたい」とあいさつ、次いで阿南哲文さん(四四)ら六十八人が永年勤続や功労表彰を受けました。また消防施設などに協力した森田元男さん(五三)ら十一人と、サイレン吹鳴に長年協力している瀬井きよ子さん(五四)、消防水利の管理が続けている工藤敏昭さん(四七)に感謝状が贈られました。

このあと、宇藤副団長の指揮で第二会場の別所の堤まで街頭行進があり、各分団は湖面に向けて一



別所の堤で行われた一斉放水

斉放水を披露しました。会場には付近の住民など多数が詰めかけましたが、約百メートルにわたるみごとな「水のカーテン」に歓声を上げていました。

新成人おめでとう

華やいだ中に「大人の自覚」



宣誓をする阿南一也さん

「新成人おめでとう」―さる一月十五日の成人の日、本町の畜産センターで今年二十歳になった青年を祝い励ます「成人式」が行われました。

町内で大人の仲間入りしたのは百六十七人(男七十五人、女九十二人)。式典には町外、県外からの帰省者も含めて百三十七人が参加しました。男性はスーツにネクタイ、女性は振りそで姿と華やかだふん囲気。岩下町長が「これからは社会的にも法的にも立派な成人。実行力と情熱に富む皆さん方の活動に対して深い信頼と期待を寄せています」とあいさつ、一人一

なお、通常点検の成績は次のとおりでした。

【通常点検成績】①第八分団(津留) ②第十分団(尾下・河原) ③第三分団(矢津田・中)

人に記念のアルバムを贈りました。これに対し、新成人を代表して阿南一也さん(草部)が「大人の自覚」を宣誓しました。

式のと成人を祝う詩吟、舞踊が披露され、また「新成人を迎えて」と題して甲斐千春さん(津留・家事手伝い)都信一さん(永野・農協)宇藤ひとみさん(色見・会社員)丸野博憲さん(高森・医院勤務)が意見発表しました。このあとNHK青年の主張コンクール県代表となった後藤一恵さん(三)の主張「私の選んだ道」も披露され、新成人者たちは感激と希望に満ちた一日を過ごしました。

